法人紹介
事業案内

地域生活に
安心と希望を
お届けします

一般財団法人　みちのく愛隣協会

東八幡平病院
（地域リハビリテーションセンター）
介護老人保健施設希望
訪問看護ステーションのぞみ
居宅介護支援事業所のぞみ

法人 ミッション

愛隣の精神を基本として、地域医療と地域リハビリテーションを実践し、地域共生社会の創生に貢献します。

信頼　**愛情**

協会の設立理念である「隣人愛」の精神を基本とし、隣人を自分自身と同じように愛するこころを大切にします

愛隣

東八幡平病院 基本方針

1，「信頼と愛情」に基づき、人権を尊重する医療とケアを推進します。
2．急性期・回復期から生活期・終末期リハビリテーションまで一貫した医療を実践します。
3．保健・医療・福祉の連携を大切にし、地域リハビリテーションの構築と啓発を図ります。
4．新しい時代にふさわしい医療技術の革新と情報の開示に努めます。
5．地域住民に信頼され、地域に開かれた病院を目指します。

患者さんの権利の尊重

私たちは、次に掲げる患者さんの権利を尊重し、最善の医療の提供に努めます。

1．人間として尊重される権利
2．医療を選択する権利
3．適切な医療を受ける権利
4．医療の内容を知る権利と説明を受ける権利
5．プライバシーが守られる権利

東八幡平病院

Higashi-Hachimantai-Hospital

地域リハビリテーションセンター

病院ミュージアム
病院内に60点余の絵画を展示しています。
【絵画：佐々木忠和画伯作】

地域リハビリテーションの老舗としての伝統と技術を継承

地域とともに歩んで半世紀

地域とともに歩んでお陰様で半世紀を迎えました。

南に岩手山の雄大で峻厳な山懐に抱かれ、西には優しい八幡平の山並みを望む、正に高原リゾートとも呼ぶに相応しい清涼な土地で「高原リゾート・リハビリテーション」をメインコンセプトに、地域に開かれ、患者さんやご家族、地域住民の皆様にとって明るく親しみやすい療養環境の下で地域リハビリテーションを展開しています。

多職種の連携で支援

長きにわたって、地域のリハビリテーション医療を支えてきた老舗としての伝統と技術を継承し、東八幡平病院は80余名の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士などセラピストとともに、医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、管理栄養士、歯科衛生士など多職種が共動し、積極的な機能回復への介入と退院後生活を見据えたリハビリテーション医療を行い、患者さんの機能回復と社会復帰を支援させていただいています。

家庭・社会復帰に向けた医療を提供

一般病棟　50床　　回復期リハビリテーション病棟　100床

１枚の絵
１枚ガラス窓枠で切取られた八幡平の風景が額縁の中に納められているようです。

一　般　病　棟

【主な疾患・患者】
1.急性期治療が必要な患者
2.廃用症候群(誤嚥性肺炎などの医学的処置が必要かつ長期臥床により身体機能の低下を認める）患者など
3.点滴など一般的な内科治療が必要な患者
4.リハビリテーションの必要な患者（回復期対象外の者）
5.難病が進行した患者など

【当院の特色】
※消化器内視鏡専門医による胃や大腸などの内視鏡検査のための検査前入院に対応
※胃ろう増設や胃ろう交換などに対応
※次のような方への対応
（医療相談室にご相談ください。）
<ケース>
①仕事・介護疲れ等の理由で在宅介護が困難な場合があります。
②最近、転倒することが多くなり、外出がめっきり減りました。
③以前は、一人でトイレや入浴が出来たのに、最近、家族の手伝いが必要になってきました。
④食欲がなくなり、むせこみも多くみられ、体重が減少しました。
⑤運動する機会が減り、最近ふらつきが強くなってきました。

回復期リハビリテーション病棟

【主な疾患・患者】
1.脳血管疾患や腫瘍術後、頭部外傷などに基づく片麻痺、失調症状、嚥下障害や高次脳機能障害等の患者
2.脊髄損傷・脊髄疾患による四肢麻痺・対麻痺の患者
3.神経変性疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症等）、脱髄性疾患（多発性硬化症等）、神経筋疾患（ギランバレー症候群、多発性筋炎等）の急性期または急性増悪による歩行障害、日常生活動作の障害、嚥下障害などの患者
4.関節リュウマチを含む骨関節疾患の患者
5.頭部腫瘍術後の嚥下障害の患者
6.肺炎・無気肺・慢性呼吸不全や手術後などの長期臥床に伴う四肢拘縮や廃用状態などの患者

【当院の特色】
※病棟内にはリハビリテーションコーナやユニットバスなどを設置し、在宅に向けた様々な場面での訓練を行っています。
※認知症ケアの一環として園芸療法や病棟内レクリエーションを導入しています。
※入院後の在宅復帰率は70%以上となっており、住み慣れた地域でいきいきとした生活が再び送れるよう関わっています。

多職種によるチームアプローチ

回復期リハビリテーション

入院リハビリテーションの流れ

入院早期よりリハビリテーションスタッフがチームで関わり、定期的にご家族にリハビリテーションの進行状況をご報告いたします。また退院にむけて外出や外泊の練習、家屋状況の評価なども行い、スムーズに在宅生活に結び付けられるようリハビリテーションを実施しています。

入　院	
リハビリテーション処方	主治医が必要なリハビリ療法を処方
入院時評価	主治医、看護師、理学療法士、作業療法士等が身体状況や生活状況などを評価
入院時カンファレンス	チーム員で当面のリハビリ目標やリハビリサービスなどを選定
リハビリテーション開始	処方されたリハビリを実施
リハビリカンファレンス	チーム員によりリハビリの進み具合、今後の予測、退院時期、退院先の検討を行い、家族に説明
外出訓練・外泊訓練	入院環境と自宅環境が異なるため、必要に応じ外出・外泊訓練を実施
退院前訪問・家屋調査	退院後、自宅で安楽に過ごせるよう自宅訪問し環境調整プラン作成
退院前指導・関係機関連絡	退院後の留意点、自主トレーニング、介護方法等を説明、介護サービス提供機関等との連携
退　院	

リハビリ療法

- 理学療法
- 作業療法
- 言語聴覚療法
- 義肢装具療法
- 物理療法など

【当院の特色】

※脳血管疾患による片麻痺の患者に対する促通反復療法（川平法）の実施

※経鼻経管栄養患者の経口摂取移行などの摂食嚥下療法

※高カロリー・高たんぱくなどの栄養管理

ＭＲＩ装置

充実の設備で
迅速な診断と治療

ＣＴ装置

医療機器の地域共同利用

地域の医療機関や開業医の先生方とのMRIやCTなど医療機器の共同利用を進め、地域医療連携に努めています。

内視鏡検査

先端に小型カメラを内蔵した太きさ１㎝程の細長い管を口あるいは肛門より挿入し、食道、胃、十二指腸や大腸の内部を観察し、時には治療を行います

嚥下造影検査（ＶＦ）

患者さまに造影剤入り検査食を嚥下してもらい、検査食の流れと貯留状態、嚥下関与器官の動きを、Ｘ線透視画像として観察を行います。

歯科パノラマ・断層撮影×線診断

歯科の治療においてレントゲン撮影は欠かせないものとなっています。当院では患者さんの主訴、それに基づく画像の双方向から診断を行います。

臨床検査科

薬剤科

X線装置

X線透視検査装置

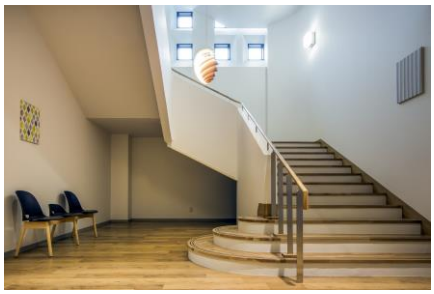
骨密度測定装置

軽音楽コンサート
北国に相応しい暖炉のある待合ホールでは弦楽四重奏コンサート等のイベントを開催しています。

明るく・暖かい・心やすらぐ環境

快適な院内空間

受付・待合ホール
患者さまが過ごすエリアを少しでも快適なものにするために明るくあたたかい雰囲気となるよう照明や暖炉などの工夫をしています。



多床室・個室
多床室（４床）は十分な広さを確保し同室者に気兼ねなく治療や車いす移動が楽にできます。また、病室や食堂からは岩手山の四季の移ろいが眺められます。

病棟リハビリ環境
リハビリはベッドサイドから始まり、広々とした回路型廊下やリハビリコーナで行い、その後訓練室へと移行します。食堂では看護師等によるレクリエーション等を楽しまれています。

地域・患者さまとつながりあう

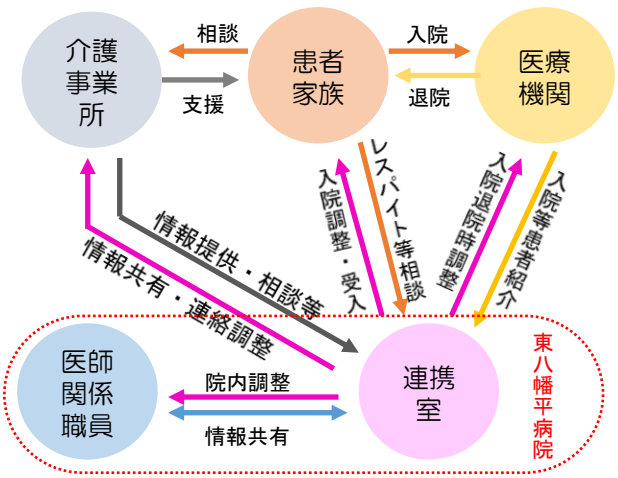
地域医療連携／医療相談

地域の医療機関などと連携し、患者さまにとって最適な医療が受けられるよう、
また、退院後も引き続き必要なサービスが継続して受けられるように努めています。

地域医療･福祉･介護連携室

（直通）TEL　0195-78-2612
FAX　0195-78-3664

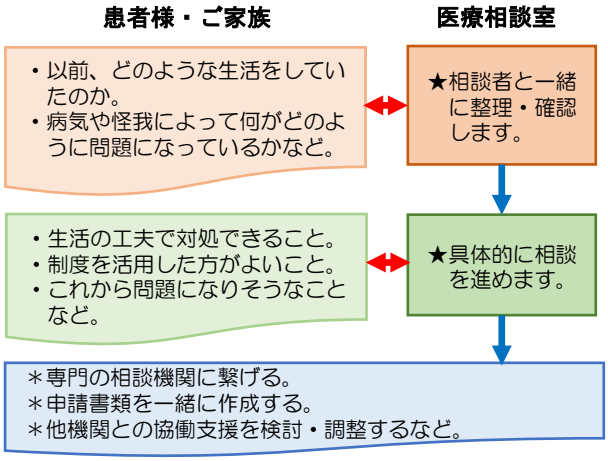
地域の医療機関をはじめ、福祉・介護サービス機関との連携窓口として、患者紹介や逆紹介などにより、切れ目のない医療・福祉・介護サービスが提供できるよう支援や調整を行い、地域包括ケアシステムの一翼を担う病院としての機能を果たしています。



医 療 相 談 室

TEL　0195-78-2511
FAX　0195-78-3437

病気や怪我はある日突然起こります。
そのことで本人はもとより家族もまた大変なショックを受けますし、この先の生活がどうなるかと様々な不安や心配が起こってきます。
このようなときに医療相談室が一緒に考え、問題解決のためのお手伝いをしています。



医療と福祉・保健のかけ橋

病院併設／医療ケア・リハビリの充実

基　本　理　念

- 利用者さまが将来に希望（のぞみ）を抱きながら、明るく楽しく療養に励むことを目指します。
- 利用者さまの地域社会への寄与に感謝し、その人格と豊かなご経験を尊重することを目指します。
- 利用者さまのそれぞれの人生経験や生き方を全施設職員は謙虚に学び、自らの人格の向上に努めることを目指します。

サービス内容

- **施設入所（介護老人保険施設：95床）**　・・・・・・要介護1以上
  病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方を対象とし、医学的な管理のもとで看護やリハビリ、介護を提供します。
- **短期入所（ショートステイ：4床）**・・・・・・・・要支援以上
  一時的にご家庭での介護が困難な場合、短期間入所受入れし、医学的な管理のもとで看護やリハビリ、介護を提供します。
- **通所リハビリテーション（定員：30人）**・・・・・要支援以上
  心身の機能維持・回復のため、必要なリハビリテーションを提供します。

ご利用できる方

- **65歳以上の方**
  原因を問わず、日常生活を送るために介護や支援が必要であると介護認定を受けた場合にサービスを利用できます。
- **40歳～64歳の方**
  主に加齢が原因で日常生活を送るために介護や支援が必要であると介護認定を受けた場合にサービスを利用できます。

温泉
風呂

レク
学び

慰問
相撲

リハ
ビリ

入所・サービスご利用のお問合せ先
TEL 0195－71－1010
〒028-7303　岩手県八幡平市柏台２丁目８－３
（担当：介護支援相談員、介護支援専門員）

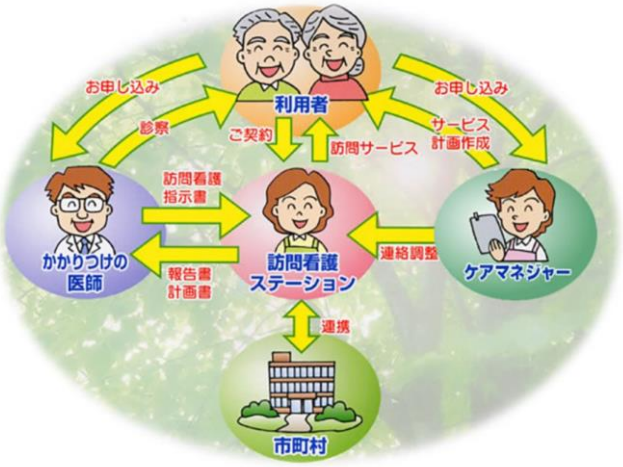
訪問看護ステーションのぞみ

住み慣れた家で暮らしたい

介護の心配・一人暮らしの不安・ 頼りになります

「病気や障がいがあっても、住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。
でも「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだけど大丈夫？」と不安に思うことも多いと思います。
そんな時に頼りになるのが訪問看護です。訪問看護の強みは、地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まで全ての年代の方に、関係職種と協力しあって、一人ひとりに必要な支援が行えるところです。

サービス利用の手続き



サービスの内容

当事業所の特色

訪問看護ステーションの主なサービス

対応職員	看　護	リハビリ
	看護師・准看護師	理学療法士・作業療法士
主　な サービス	・健康状態の観察 ・病状の悪化防止と回復 ・リハビリテーション ・点滴、注射等 ・緊急時の対応 ・服薬管理 ・看取り ・チューブ類の管理 ・床ずれ処置、予防 ・家族への介護支援	・健康管理（血圧測定、体重測定） ・評価（身体測定、体力測定） ・日常動作訓練（歩行訓練、外出支援など） ・摂食嚥下訓練（口腔体操など） ・環境整備 ・福祉用具の選定

訪問看護ステーションのぞみ

【訪問エリア】
・八幡平市　・岩手町　・一戸町
・二戸市（二戸・浄法寺）
【訪問可能時間】
・月～金曜日：9:30　～　17:00
・土　　曜日：9:20　～　12:00

★連絡先
TEL　019-71-1122
〈受付：月～金曜日　9:00～17:00〉

指定居宅介護支援事業所のぞみ
八幡平市地域包括支援センター・松尾ブランチ

◆ 介護支援事業所の仕事

自宅で自立した生活をするための ケアプランの作成やサービス調整

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。
制度上「自宅（居宅）」とされる住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の利用者（入居者）も利用します。

◆ 地域包括支援センター・松尾ブランチの仕事

ご家庭で生活されている高齢者や、その介護にあたられているご家族の保健・医療・福祉サービスに関する総合的なご相談に応じています。
保健福祉サービスの利用手続きや、介護用品等のご紹介をお手伝いしています。
実施主体・・・八幡平市

ご相談ください

■ 開設時間

月曜日～金曜日：　午前9時　から　12時00分　　午後1時　から　5時30分
土曜日：　午前9時　から　12時30分

■ 休業日

・土曜日の午後　・日曜日　・祝祭日　・年末年始（12月30日　～　1月3日）

■ 相談方法

・電話相談　・来所相談　・訪問相談

連絡先

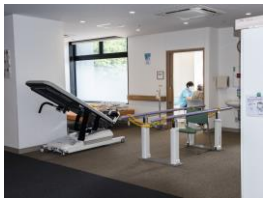
TEL　0195－71－1012
〒028-7303　岩手県八幡平市柏台２丁目８－２

リハビリテーション

当法人では、急性期・回復期から生活期・終末期リハビリテーションまで一貫した医療に取組んでいます。

■ 急性期･回復期リハビリテーション

ベッドサイド



病棟内リハビリコーナ

機能訓練室

▶エビデンスの高い治療アプローチを導入
- PASシステム（随意運動介助型電気刺激アイビス）
- 促通反復療法（川平法）
- FES（機能的電気刺激）
- FLS（二次性骨折予防管理）
- 装具療法など

▶摂食嚥下への対応
- 嚥下カンファレンスの実施
- 経鼻経管栄養の患者さまを経口摂取に移行できるように多職種で支援しています。
- 2022年度実績：摂食機能療法商法者　216名

■ リハビリテーション職員　（2023年5月現在）

（単位：人）

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	ソーシャルワーカー	計
病院	34	27	6	2	5	74
老健	3	2	–	–	1	6
訪問	3	–	–	–	–	3
計	40	29	6	2	6	83

■ 生活期リハビリテーション

多職種によるカンファレンス

リハビリの提供

■外来リハビリテーション
■通所リハビリテーション（介護老人保健施設）
■短時間通所リハビリテーション（病院）
■訪問看護・訪問リハビリテーション

退院後、住み慣れたところでいきいきと生活していただくため、継続した生活期（維持期）リハビリテーションを提供しています。
また、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、介護老人保健施設に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練などのサービスを提供しています。
更に、訪問によるリハビリテーションも提供しています。（訪問看護ステーション参照）

■ 盛岡北部地域リハビリテーション広域支援センター

地域包括ケアを支える新たな地域リハビリテーション支援体制の構築に向けて、「岩手県地域リハビリテーション連携指針」に基づき盛岡北部を拠点として活動しています。

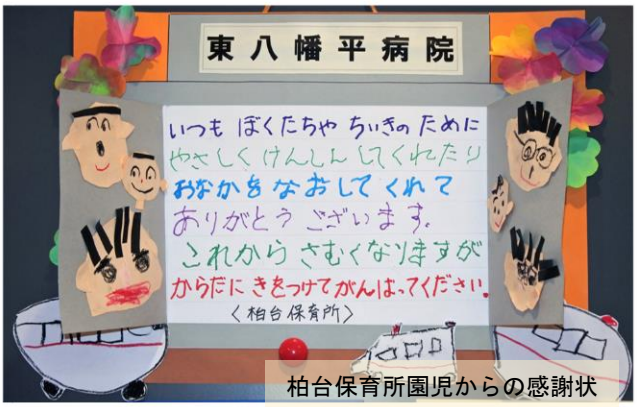
地域とのコミュニケーション

地域交流・イベント

医療やリハビリ、栄養など健康に関する情報を発信し
地域のみなさまとふれあう時間を大切にし交流を深めています。

オープン・ホスピタル

東八一座寸劇「家に帰ります」



柏台保育所園児からの感謝状

職員による生演奏・合唱

見学に訪れた学生

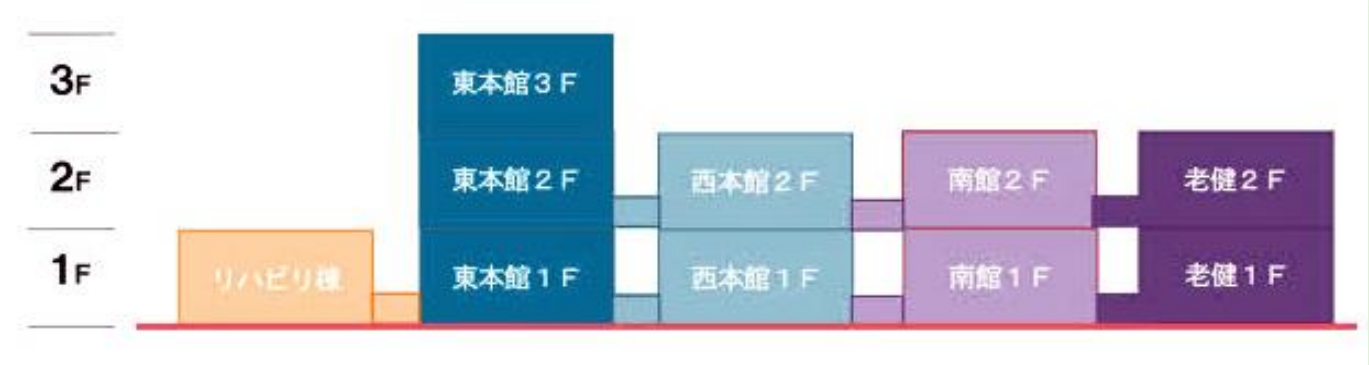
クリスマス職員合唱隊

オープン・ホスピタルは、地域に開かれた病院や施設を目指し、職員有志で構成する「東八一座」による寸劇や、生バンド演奏、合唱などのほか、看護やリハビリ部門等による体験コーナ・試食コーナ、パネル展示などを一般公開してきました。
地域の皆さんなどとともに、県内から学生さんも多く見学に来ています。
このほか、市民公開講座を市内で開催し当院医師による講話のほか、健康相談会や誰にでも直ぐに始められるリハビリ体操の講習なども併せて行っています。
また、地域共生社会創生活動の一環として、沿道の歩道に花を植える活動などを地域の皆さんと職員が一緒に行っています。

市民公開講座「リハビリ体操」

施設フロアー図

- 病院東本館：RC造、地上３階、塔屋１階
  高さ　15.1m
  総床面積　4,447.36㎡
- リハビリ棟：RC造、平屋
  総床面積　796.3㎡
- 西北舘、南舘：RC造　2階
  総床面積　3,317.32㎡
- 介護老人保健施設：
  S造、２階
  総床面積　4，985.54㎡
- 敷地面積　：　病院　26,284㎡
  老健　7,794㎡
- 竣　工　年：病院　1974年９月
  2017年５月（増改築）
  リハビリ棟　1974年９月
  老健　1995年９月
- 駐　車　数：200台
- 病　床　数：一般病床　50床
  回復期リハビリ　100床
  合計　150床
- 入 所 者 数：99人



一般財団法人みちのく愛隣協会
沿　革

昭和	49.9.26	財団法人みちのく愛隣協会設立認可
	53.1.10	東八幡平病院　開院
	53.1.10	東八幡平病院開設・外来受付開始
	55.9.11	病床数70床から130床に増床
	57.4.1	言語療法 開始
	57.9.24	CTスキャン（頭部用）導入
	58.4.1	作業療法開始、医療社会事業業務開始
	58.6.15	局所脳血流測定装置 導入
	58.11.1	臨床心理業務 開始
	58.11.12	増築工事 落成
	59.8.1	病床数180床に増床
	59.11.29	病床数204床に増床
	60.11.1	歯科業務 開始
	62.11.14	増築工事落成
平成	1.1.20	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）導入
	7.4.6	病床数192床に減床
	7.11.21	老人保健施設希望 開所
	8.1.1	松尾村在宅支援センター業務 受託開始
	9.2.20	超音波診断装置エコーカメラ 導入
	10.2.29	皇太子同妃殿下老人保健施設希望 行啓
	11.6.1	訪問看護ステーションのぞみ 開所
	12.4.1	指定居宅介護支援事業所のぞみ 開所
	13.8.1	療養病床162床 届出
	13.10.16	回復期リハビリテーション病床55床 届出
	13.10.16	盛岡北部リハビリ広域支援センター指定（岩手県）
	18.10.1	地域医療連携室 整備
	19.2.23	病床数165床に変更/ 一般病床50床、療養病床
		115床（うち55床回復期リハビリテーション病床）
	21.10.2.	病院機能評価認定書 交付
	23.3.11	東日本大震災津波発生
	24.4.1	一般財団法人みちのく愛隣協会に変更登記
	24.5.18	リハビリ付加機能評価認定証 交付
	28.4.15	東八幡平病院増改築工事起工式
	29.4.27	一般病床50床、回復期リハビリ病床100床 認可
	30.1.15	東八幡平病院増改築工事竣工・引渡し
	30.2.1	介護老人保健施設希望入所者定員99人に変更

旧病院完成予想図

旧病院全景

老人保健施設

病院増築完成予想図

病院増築棟正面夕景

● 東八幡平病院の診療案内

■ 病床数（150床）

●一　般　病　棟　　：　　５０床
●回復期リハビリ病棟：　１００床

■ 診療科目（14科）

●内　科
●脳神経内科
●リハビリテーション科
●総合診療科
●消化器内科
●外　科
●リウマチ・膠原病内科科
●歯　科
●小児科
●脳神経外科
●呼吸器内科
●皮膚科
●整形外科
●放射線科

■ 外来診療受付時間

月曜日～金曜日：　午前9時　から　11時30分　　午後1時　から　4時30分
土曜日：　午前9時　から　11時30分

■ 休診日

・土曜日の午後　・日曜日　・祝祭日　・年末年始（12月30日　～　1月3日）
ただし、八幡平市休日救急当番医として日曜日・祝祭日に診療を行うことがあります。

■ アクセス

車/東北高速道松尾八幡平から7分　電車/JR大更駅よりバス25分　新幹線/盛岡駅よりバス80分

一般財団法人 みちのく愛隣協会

〒028-7303　岩手県八幡平市柏台２丁目８番２号　TEL 0195-78-2511 FAX　0195-78-3437

URL ｈｔｔｐ：／／ｍａｉｒｉｎ．Ｊｐ／